

教育子ども委員会(10月31日) 岡田ゆき子議員

請願審査 「学童保育の拡充」の請願など継続審査(保留)
病後児保育の拡充は“北区にはある”と「不採択」

10月31日の請願審査の概要をお知らせします。

がんばっている学童に積極的支援を

学童保育の拡充を求める請願について、岡田ゆき子議員は「プレハブでは夏の暑さや冬の寒さは大変で、生活できる場にふさわしい施設が必要で、土地探しや借家の明け渡しなどが大きな負担となっているため、市の積極的な相談は必要。指導員は経験年数10年から31年以上が4割近くいて、さまざまな研修も行い、保育内容を維持している。働き続けられるよう、経験加給などの支援は切実」と、請願の採択を求めました。

休日保育や一時保育事業の拡充を

今夏の土日操業に関わる休日保育の利用者は、公立4園で208人の延べ利用があり、7割の143人が節電によるものでした。10月からこの休日保育がなくなりました。岡田議員が利用者への対応をただし、当局は「民間園は当初10か園の受け入れを15に増やした。現在、ニーズ調査を実施している」との答弁でした。

「公立で一時保育を行っていない理由」をただと、当局は「3歳未満児の枠拡大で、すでにいっぱい。全市的なバランスを考えつつ拡大したい」と答えました。

延長保育や、病児・病後児保育の拡充を

延長保育は、北区では公立14園中11園で、民間10園中7園で実施、全市では公立67園、民間111園です。岡田議員は「二重保育などで苦労している。増やせ」と、請願の採択を求めました。

病児・病後児保育は「北区では医療機関で病児病後児デイケアをしている」と、北区での病児保育の拡充を求めた請願は「不採択」となりました。

保育に企業の参入をさせないで

営利企業参入について「民間にも人件費補助で公立との格差是正をしている。保育の質は人で決まるのではないかとただし、局長は「建物も大事だが、人は必要だと思う。大手企業は、たくさんの人材で事業所内をまわして経験させ、一定の保育の質が期待できる」と答えました。岡田議員は「企業参入で人件費が大幅に節約され、保育士が派遣になったり、2年で20数名の保育士がいっぺんに入れ替わった例もあり、質の低下への不安は当然。名古屋の保育を守ってきたのは、働き続けられるように保育士の労働条件を保障してきたことにある」と請願の採択を強く求めました。

教育子ども委員会(2011年10月31日)の請願審査の結果

請願名(請願者)	紹介議員	各会派の態度(:賛成 :不採択)					結果
		共産	減税	自民	公明	民主	
学校薬剤師の報酬に関する請願(名古屋市学校薬剤師会)	自・公・民 19人	慎重に検討するため継続審査					保留
学童保育制度の拡充を求める請願(名古屋市学童保育連絡協議会)	共・減・自・民 26人	採択を求めましたが、慎重に検討するとして継続審査に					保留
子どもたちが健やかに育つために名古屋市立保育所の休日保育事業、子育て支援センター事業及び一時保育事業の拡充を求める請願(北区住民)	共 5人						保留
子どもたちが健やかに育つために北区内における 市立の延長保育事業実施保育所の拡充、病児デイケア事業の実施及び病後児デイケア事業の拡充を求める請願(北区住民)	共 5人	採択を求めましたが、は慎重に検討するとして継続審査に					保留
名古屋市内の民間保育所の運営主体に企業を参入させないことを求める請願(保育をよくするネットワークなごや)	共 5人	採択を求めましたが、慎重に検討するということで継続審査に					保留

事業仕分け 2000通以上の市民意見を施策に生かせ

判定結果は参考意見だが重く受け止める(副市長)

外部評価について、自民党が副市長の出席を求め、外部評価についての位置づけなどが議論されました。副市長は「市長の記者会見の内容も踏まえ、参考とするが重きを置くものと考えている」と答えました。

岡田議員は内部評価に対して意見募集した結果について、その内容などを明らかにするよう求めましたが、まだまとまっていないという答弁でした。岡田議員は、2000通をこえると言われる市民意見を施策にきちんと生かすよう求めました。

2011年度 名古屋市事業仕分け 判定結果

	事業名	結果	内訳		
			廃止	見直し	継続
教育委員会	野外学習センター	廃止	10	6	1
	30人学級	継続	4	3	10
	生涯学習センター	見直し	4	10	1
	中学校スクールランチ	見直し	2	9	6
	女性会館	廃止	9	6	1
青い子ども	公立保育園の運営	継続	-	5	12
	ひとり親家庭手当	継続	2	6	9
	子育て支援手当	廃止	14	1	2